

NEWTOPIA

№.141

2024 10.15

にゅとぴあ岸和田

岸和田市国際親善協会だより

INTERNATIONAL FRIENDSHIP ASSOCIATION OF KISHIWADA

多文化共生講座
「フランスってどんな国?」

第16期日本語ボランティア養成講座
上級 修了式 ~17名の方々が修了~

【特集】日本語指導補助員のはたらき

だんじり 毎年恒例!
インフォメーションセンター

- 世界の人があちわでポーズ!
- ボランティアスタッフさんの Making of!

連載

English Open Café

マレーシア ホンジュラス ナイジェリア

連載

世界の民族衣装

ナイジェリア編

にほんご
やさしい日本語

ましわ だじり

「岸和田城とだんじり」



Since 1989

にゅとぴあ
岸和田市国際親善協会

【だんじりと岸和田城】

表紙デザイン Shinako Abue

「にゅとぴあ岸和田」は世界の人びと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にした親善・交流を通して互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。



ようこそ!

だんじり

世界の国々から

インフォメーションセンターへ

だんじり祭りと世界の懸け橋!

外国人観光客の方々に岸和田だんじり祭りをご案内する「だんじりインフォメーションセンター」を今年も開催しました。開催2日間で昨年を大幅に越える**37か国 270人**もの外国の方々がご来場下さり、法被衣装に着替えて記念撮影など楽しんで頂きました。



Happy はっぴ&はちまき Making of

会員の皆さんが頑張って下さいました! 拍手です!!

セットしている時の皆さんのワクワク顔が大好きです!



うちわで
ポーズ!

ベストショット

海外のお客様はみなさん
ご陽気ですね!! 中から
両手で印を結んだポーズが
決まった海外忍者さんと、
何としても飛びたかった
大うちわ使いのお二人の
ベストショットをお届けです(笑)



衣装も着られて、とても
楽しかったでござるニンニン!



どんだけバタバタやっても、
飛べない! 飛べな〜い!!



飛んで〜!!

市長も来て下さいました!



市長&スタッフで記念写真!



市長とメアリーさん
(会員: ナイジェリア) 対談!

だんじりインフォメーション
来訪者(署名者) 2024年

国名	14日	15日	合計
USA	23	26	49
オーストラリア	4	13	17
UK	11	3	14
スペイン	4	5	9
フランス	13	11	24
ドイツ	7	4	11
中国	7	4	11
台湾	13	12	25
香港	4	7	11
韓国	1	4	5
ベトナム	7	8	15
インドネシア	2	6	8
シンガポール	1	3	4
マレーシア	1	0	1
イタリア	2	5	7
カナダ	6	6	12
オランダ	3	1	4
オーストリア	1	0	1
ポーランド	2	0	2
コスタリカ	2	0	2
ニュージーランド	2	0	2
スイス	5	0	5
スウェーデン	4	2	6
ベルギー	0	4	4
ギリシャ	1	0	1
インド	0	1	1
ネパール	0	3	3
アイルランド	1	0	1
ノルウェー	1	0	1
ブラジル	1	0	1
フィリピン	0	5	5
タイ	0	2	2
スリランカ	0	1	1
スロベニア	0	2	2
ロシア	0	1	1
アゼルバイジャン	0	1	1
ナイジェリア	0	1	1
計	130	140	270

やさしい日本語 を使しましょう。

きし わ だ じょう

「岸和田城とだんじり」

きし わ だ まつり ねん
岸和田の だんじり祭は 1700年ころに はじまり

しよ とのさま こめ
ました。城の 殿様が お米などが たくさん

きし わ だ じょう なか じんじゃ
できることを いのるため 岸和田城 の 中に 神社を

ひとびと いちねん ふつかかん しよ なか
つくりました。人々は 一年に 二日間だけ 城の 中の

じんじゃ
神社に おまいりする ことが できました。

ひとびと
そのとき人々は だんじりを

しよ なか はい
ひいて お城の 中に入り

おど うた
踊ったり 歌ったり

よろこびました。

「やさしい日本語を使しましょう」冊子



日本語の用例を生活シーンに分けて、わかりやすく掲載しています。

希望者は事務局にて手渡し
またはHPから、無料ダウンロード頂けます。





サフィさん (Safi Fakhri)

マレーシア

「軽やかに、しなやかに」

30歳のサフィさんのこれまでの人生は、なかなか波乱に富んでいる。

大学を卒業後に就いた銀行での仕事を辞して、長野県で日本語を勉強し、帰国しようとしていたところ、コロナ禍となり、困っている

と、友人の知り合い（後に泉佐野市の市議会議員と知るが）に泉佐野市のALTをしないかと声をかけられ、2年の予定が、請われて、結局4年間勤め。その間、日本人女性と堺のモスクで知り合い、3か月前に結



サフィさんご夫妻

婚。この4月から梅田でウェブ・ディベロッパーとして働いているという。

このひとつ所にこだわらない軽やかな生き方は、彼のパーソナリティはもちろんのこと、ご両親のグローバルな考え方、さらに言えば、多民族国家「マレーシア」というバックボーンにも因るところが大きいのではないかと思う。初対面のわたしたちでさえ知らぬ間に魅了してしまう彼の懐の深さが、年齢に関係なく、こうありたいと思わせてくれた。

(平松明美)



マレーシアのお土産



ヘクターさん (Hector Ucles)

ホンジュラス

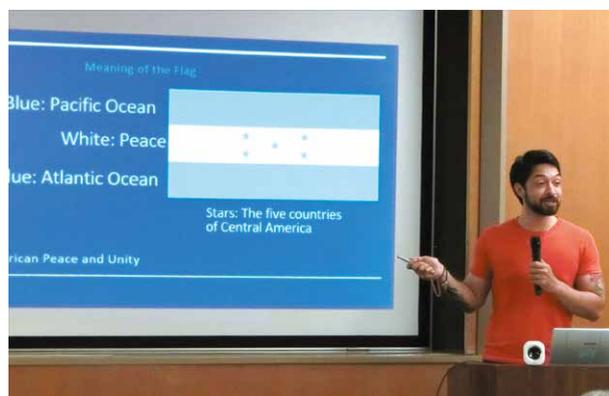
誰もが求める「平和」。しかし、残念ながら今尚そこに辿り着くには程遠い国々があります。そのような惨状を目にするにつけ心が痛む昨今です。

今回のゲストは日本で「共生」の哲学を学びながら世界の平和を希求するヘクターさん。大阪大学で学ぶホンジュラス出身のナイスガイです。自国の大学を卒業後、グアテマラでマスターコースを修了し現在に至ります。研究の傍ら日本語を学んだり日本国内をリサーチしたりと日本での生活も楽しんでおられるようです。



ヘクターさん

さて、ホンジュラスは中央アメリカに位置する共和制国家。メスティソ、インディヘナ、黒人、白人などで構成されている多文化国家であり、それぞれが特有の言語、文化、習慣を守りながら暮らし



ていますがその容姿からはルーツを判断することは難しく、氏名から先祖の名残を見つけることができるのだとか。多民族国家ゆえの慣習でしょうか。

また大晦日の過ごし方にも興味深いものがあります。新年を迎えるにあたり魔除けをし、福を呼び込むために花火を打ち上げたり爆竹を詰めた人形を燃やしたりして国中が大いに盛り上がります。日本とは対照的なホンジュラスの大晦日。来日後、初めて迎えられた日本の大晦日はどのように過ごされたのでしょうか。静かな日本のお正月も気に入ってもらえれば嬉しいです。

(福塚篤子)



メアリーさん (Mary Umoru)

ナイジェリア

満員御礼の札が下がり
 そうな大盛況のイングリ
 ッシュオープンカフェは、
 スピーカーのメアリーさ
 さんの美しい歌声で幕が開
 きました。ナイジェリア
 から来られた彼女は、現
 在、岸和田市立産業高校
 のALT*をされています。

アフリカ大陸北部西側
 ギニア湾に面したところにあるナイジェリアには、
 日本からの直行便は殆どなく、最低一回の乗り継ぎ
 で 20時間以上かかるそうで、メアリーさんはカタ
 ール乗り換えで 30時間かけて日本に来られたそう
 です。



ナイジェリアの国章

国章に『Y』の字で
 描かれているニジェール
 川の豊かな地に栄え

たナイジェリアのお祭りはタロイモの収穫を
 祝うものや、魚釣りで漁業の繁栄を祝うなど、
 多彩でとても楽しそうです。(松本純子)



国土全体にYに流れるニジェール川

日本の約2.5倍の
 面積で人口は約2倍。
 公用語は英語です
 が、家庭で話される
 それぞれの民族語は
 525言語にもなるそ
 うです。イギリス領
 になる前のナイジェ
 リアは、大小いくつ

かの王国に分かれて
 いましたが、天然資
 源が豊富だったり狩
 猟が得意だったりとい
 う王国の利点を生か
 し、それぞれがポル
 トガルやスペインなど
 と独自に交易をして
 栄えていたようです。

*ALT...
 アシスタント・ラン
 ゲージ・ティーチャー

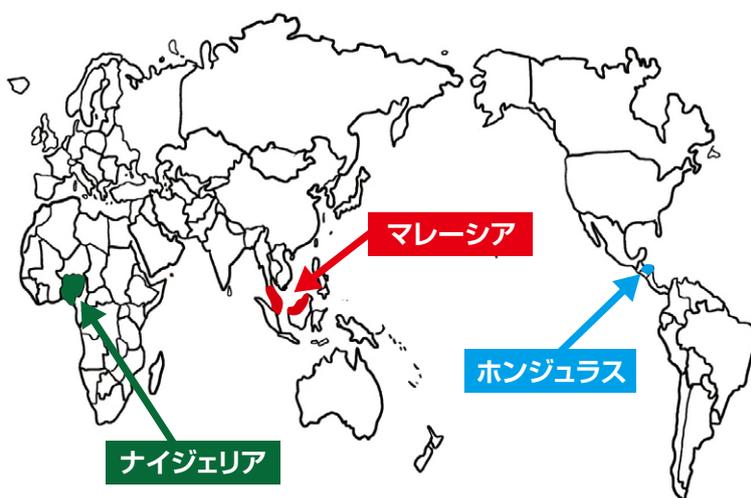


魚釣り大会「アルグング」



世界の旅

今回登壇くださった皆さんの
 出身国をご紹介します。
 EOCがいかにかワールドワイドか
 ご理解いただければ
 嬉しいです。



この夏は、パリオリンピック・パラリンピックでアスリートの皆さんの活躍に元気づけられましたね。開催地もがんばったので、Well done Paris, Well done France!! というところでしょうか。さて、当協会ではオリンピックに先がけて「フランスってどんな国？」と題した多文化共生講座を開催しました。

講師は岸和田市在住で親善協会会員のザビエ・フォレさんと、ひとみさんご夫妻。40名を超える参加がありました。

ザビエさんはノルマンディー地方のエトレパリの出身。パリをはじめ、モンサンミッシェル、カンヌ、ニース等々、街の特徴を教えてくださいました。また、シェフであるザビエさんはフランスの食文化を生き生きとお話しされました。イタリアとの国境にそびえ立つモンブラン周辺の良質の草を食べている牛の乳から作られるチーズは絶品だそうです。皆さんお試しくささい。



ザビエさん、ひとみさんご夫妻



会場の皆さんのペンの運びがいそがしくなったのは、パリのトラベル情報とフランス語レッスンの時間でした。パリでのお勧めは、エッフェル塔から凱旋門を通るパリメトロ6号線。パリ市内で唯一



地上を走る地下鉄です。また、観光でよく使うフランス語のフレーズなどをザビエさんが発音し、ひとみさんが日本語で説明してくださいました。

ザビエさんに紹介していただいたもう一つの街は、La Rochelle (ラ・ロシェル市)。岸和田市が音楽交流を計画しています。ラ・ロシェル市はパリからTGV(フランス高速鉄道)で約3時間、人口約75,500人の大西洋に面した文化都市です。Francofolies (フランコフォリ) という音楽フェスティバルが毎年開催されます。



最後には、ひとみさんのご家族から、日頃見過ごしているものをザビエさんによって気づき教えてもらうことがあったとお話しいただきました。異文化を知り、受け入れることが共生社会のはじまりではないかと改めて考える機会となる講座でした。参加者の皆さんからも、フランスのことがよく分かりより興味が深まったとの感想を沢山いただきました。(三森すみ代)

第16期日本語ボランティア養成講座上級 修了式

9月26日(木)に第16期日本語ボランティア養成講座(上級)の修了式を行いました。初級・上級と2年間にわたってご指導をいただいた澤田先生、南方先生にもご同席いただきました。

今期は17名の受講生の方々が無事に修了され、これから日本語ボランティアとして各サロンで外国の方々の日本語学習支援に携わっていただきます。(広報部)



第16期日本語ボランティア養成講座上級を修了された17名の皆様

<上級編>修了者名簿	
一ノ瀬 健治	荻野 和子
小俣 睦子	加部 満由美
久禮 千秋	黒瀬 恵子
左古 久代	高橋 浩子
竹本 和子	蛸川 弥生
中原 政彦	根来 可奈子
鱧谷 納	松田 淳子
丸山 直実	村上 奈月
横田 直樹	

ゆかたを着て、

7.27(土)

夏まつりにいきましょう!



久米田池夏まつりに外国人18名を含む、37名が参加しました。KIMONOクラブの協力で子どもも含め18名がゆかた姿で、花火を堪能しました。



フォトサロン

～日本語サロンの七夕～



〈福祉センター日本語サロン〉



〈箕土路日本語サロン〉



世界の民族衣装

ナイジェリア編



ナイジェリアの民族衣装

アフリカ大陸の西側にあるナイジェリア連邦共和国は、GDP規模もアフリカ大陸第1位と予想以上に大国で驚きました。また公用語も英語です。5ページで紹介しているイングリッシュオープンカフェのスピーカーのメアリーさんも、ナイジェリアから来日中の英語の先生で、岸和田市立産業高校に赴任しておられます。スタイル抜群でおしゃれなメアリーさんに民族衣装についてお聞きしました。



「ナイジェリアにはたくさんの民族、部族がいるので衣装は様々です。私が着たのはアンカラと呼ばれる生地で作られたドレスです。どの部族でも一般的に受け入れられており、さまざまな機会やイベントで着用できます」

民族衣装というより今を生きるナイジェリア女性のリアルクローズで、メアリーさんがお気に入りの優れたデザイナーが製作したアフリカンプリント布を、仕立て屋で体型に合わせてあつらえたワンピースだそうです。模様の緑色と白が、ナイジェリアの国旗の色(緑は農業、白は平和を表している)とリンクしていますね。

ナイジェリアの町には色鮮やかで斬新な柄のアフリカンプリント布を売るお店がたくさんあり、その中から



メアリーさんのデッサン画
作:赤井氏(岸和田美術の会 会員)

布を選んで、仕立て屋で採寸して仕立ててもらうことは一般的だそうです。すでに日本でも人気のあるアフリカンプリントですが、筆者も興味津々。メアリーさんの素敵な着姿を見て、岸和田でもハマる人が続出するかもしれません。(新矢由紀)

日本語指導補助員のはたらき

特集

海外からの子どもたちが、孤立せず、日本で勉強や学校生活をスムーズに受け入れられるようサポート。

*イメージ

増える海外からの居住者

最近、岸和田市内で外国人の方を見かけることが多いと感じませんか？ だんじり祭りの時などの観光客ではなく、岸和田市に住んで生活している外国人の数は、何人位か想像できますか？

仕事の赴任先が日本、そして家族で岸和田に住んでいる人。日本人と結婚して夫もしくは妻の故郷の岸和田に住んでいる人。故郷の国に家族を残し一人単身で日本に来ている人などいろいろですが、最近のデータでは岸和田市には約3,700人も外国人が生活しています。



教室の中でクラスメイトと一緒に

岸和田市内の小学校、中学校には日本語指導を必要とする児童、生徒が81人通っています。(2024年9月現在、岸和田市教育委員会の資料) そのような子どもたちは、授業の内容どころか、先生やクラスメイトの日本語も理解できずに、学校生活がはじまります。

全ての子供たちが学び生活できる環境を

そこで、私達岸和田市国際親善協会の日本語指導者が、岸和田市教育委員会・学校の要請をうけて、日本語指導補助員として、教室に入り、子どもの横で日本語の指導をします。(先生の話している内容の通訳など) また、別の教室で個別に日本語を指導します。

子どもたちの母語が英語ではないことも多く、中国語・ベトナム語・モンゴル語・スペイン語(ペルー)・ウルドゥー語(パキスタン)と私達日本語指導補助員にも勉強の機会が与えられています。

すべての子どもたちが安心して学習でき、ひとりも取り残されることなく、学校生活ができるお手伝いをめざしています。(広報部・内田満弥)

日本語が全く分からない子どもたち

子どものいる家庭で、保護者が外国人の場合、家の中では母国の言葉で話します。もちろん子どもも。そう、家の中は外国なのです。その子が小学生や中学生の年代だったら、昼間は岸和田市立の小学校や中学校に通います。



教室を離れて、個別に日本語の指導

Informations

■ふれあい交流祭り

関西国際センターで日本語を学ぶ外交官等の研修生と交流する祭りです。
当協会は「日本の遊び・色紙に漢字」を行います。
(と き) 11月23日(祝・土) 13:00~16:00
(スタッフは12:30~16:30)
(ところ) 関西国際センター
(泉南郡田尻町りんくうポート北3-14)
*できるだけ電車・バスをご利用ください
(スタッフ募集) 15名(先着順)

■地球村クッキング「フランス編」

(と き) 12月15日(日) 10:00~13:00
(ところ) 春木市民センター(春木若松町21-1) 2階 実習室
(費用) 500円(会員は300円)
(定員) 25名(先着順)

■English Open Café

各国からのゲストをお招きし、英語でプレゼンをしていただき交流を図ります。
(と き) 9月以外の第3土曜日 13:30~15:30
(ところ) マドカホール 3階 視聴覚室
(費用) 無料 (定員) 30名(先着順) *全て当協会事務局へお申込みください。